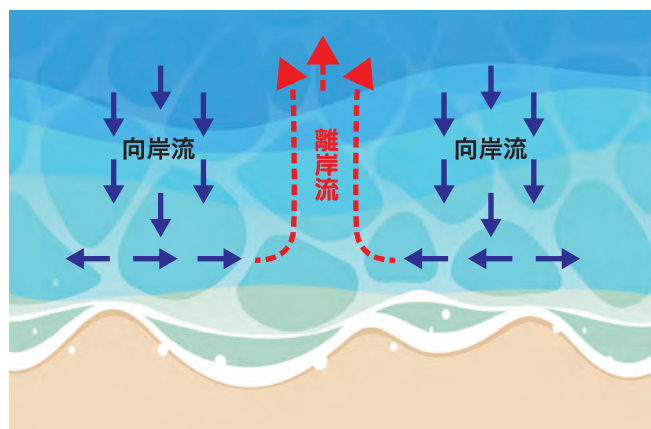
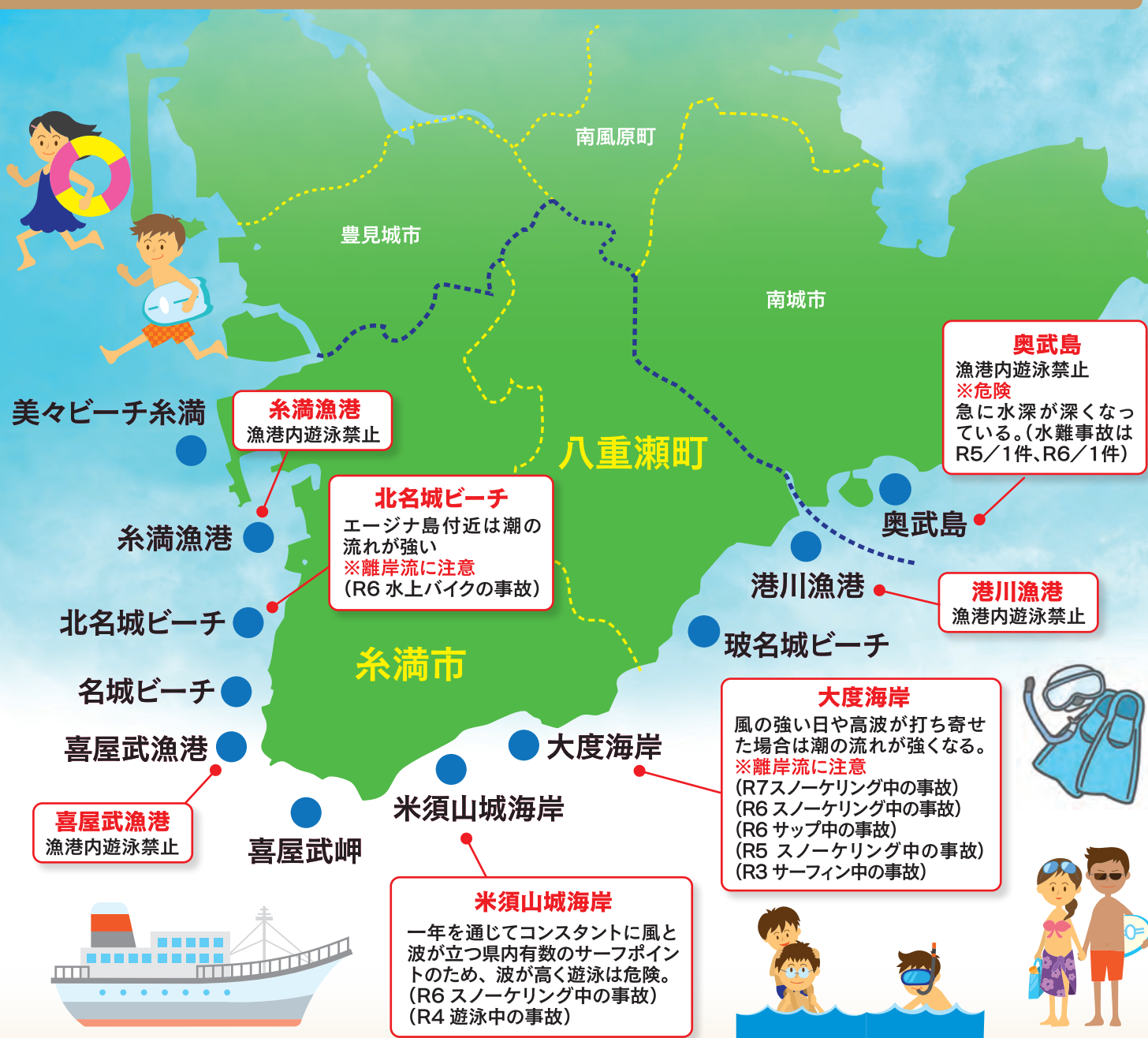


糸満警察署管内の海岸危険度マップ



離岸流(リーフカレント)に注意

リーフカレントとは、リーフの切れ目に沿って沖に流れ出す強い潮の流れのことです。

リーフカレントに巻き込まれた場合は浜辺と平行に流れを横切って泳ぎ、リーフカレントを抜けてから一番近い陸地を目指します。

リーフカレント注意海域

- 北名城ビーチ
- 大度海岸



安全にマリレジャーを楽しむために

島全体が珊瑚礁に囲まれ、コバルトブルーの沖縄の海は、一年を通して様々なマリレジャーが楽しめます。一方で自然を相手にするというリスクもあることを忘れてはいけません。そこで沖縄の海で安全にマリレジャーを楽しむために次のことを守りましょう。



1 事前に海象、気象状況等を確認しましょう。

安全にマリレジャーを楽しむためには、事前の情報収集が大切です。海象、気象や風向、潮流、離岸流、高波等の必要な情報をチェックしましょう。

2 疲労、睡眠不足、飲酒時の状態でのマリレジャーはやめましょう。

飲酒や体調がすぐれないときは、マリレジャーを行うのは危険です。やめる勇気も事故防止には重要です。

3 監視員のいる管理された海水浴場で楽しみましょう。

監視員のいないビーチは、海の危険生物に遭遇、離岸流、急な深みなどのリスクがあります。監視員のいるビーチ等を利用しましょう。

4 ライフジャケット、ウエットスーツ等の浮力体を必ず着用しましょう。

ライフジャケットの常時着用及び浮力体を利用することで事故のリスクが大幅に低くなります。

5 必ず複数での利用に努め、常にお互いを確認し合いながら安全を確保しましょう。

子どもだけでは、絶対に海や川には行かせない等、保護者や監視者は遊泳中の子どもから絶対に目を離さないようにしましょう。



海の危険な生き物



ハブクラゲ

5月から10月頃に発生するクラゲです。県内ほぼ全域に生息します。水深50cm程の浅い場所でも見られます。刺されるととても痛くショックを起こすこともあります。死亡した事例もあります。ハブクラゲが大きくなる7月から9月に被害が多くなります。

ハブクラゲに刺された時の応急措置

※刺されたときのために応急措置を覚えましょう。

1. 刺されたらすぐに海から上がる（刺された部分は絶対にこすらない）
2. 酢（食酢）をたっぷりかける。
3. 触手を手でゆっくりと取り除く。
4. 痛いときは氷や水で冷やす。

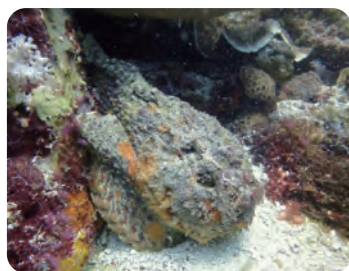
※呼吸や心臓が止まった場合は、すぐに心臓マッサージを行う。

ハブクラゲに刺されないためには

1. クラゲネットが設置されているビーチで泳ぐ。
2. クラゲネットの内側で泳ぐ。
3. ウエットスーツや長袖Tシャツ、スパッツ等を着用し肌の露出が少ない方法で泳ぐ（刺されても被害を最小限度に防げる）



ガンガゼ



オニダルマオコゼ



オニヒトデ



ミノカサゴの仲間

危険な場所をチェック
おきなわマリセーフティマップ



海で安全に楽しむための詳しい情報サイト
おきなわマリセーフティポータル

